



新型コロナウイルスの感染が再拡大しています。
ハッピーテラスでは、引き続き感染対策に十分に努めて参ります。

1 お知らせ

- * 令和5年度ご利用希望調査の開始について
来年度のご利用希望のアンケートを配布させていただいております。
締め切りは11月12日(土)までとさせていただきます。
ご協力の程、よろしく願いたします。
- * 年内の営業について
今年の、年内営業日は12月29日(木)午前中までとなります。
年明け、営業開始は1月4日(水)午後からとなります。

2 職員からの推薦図書

題名 「ぴーぴーばっくしまーす」
著者名 片山 健
参考価格 880円 (Amazon)
推薦者 吉澤範文(与野本町教室)



0歳から読むことができ、「どん!」と当たる音に、小さい子でも聞き取りやすい擬音で尚且つ、いろんな動物たちとぶつかる為、子ども達も覚えやすく一緒に楽しむことができます。言葉の発達がゆっくり成長する子どもに、とても適しています。

3 11月の追加ご利用可能日程

各教室において、追加でご利用される場合にご参考ください。
(記号：○・・・空きがございます △・・・若干名の空きがございます)

日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
10:00									○						
11:15									○			△		△	△
13:00														△	△
15:00									△						
16:15															

日付	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
10:00		△							△					△	
11:15		△	○			△	△		△	○			△	△	
13:00		△	△			△	△		△	△			△	△	
15:00															
16:15															

集団コースの空き状況(通期での参加をお願いしております)

- 月曜15:00 ソーシャルスキルコース 若干名空いております
- 水曜13:00 幼稚園準備コース 若干名空いております

4 おうちでキッズコーディネーション！

～ボタンでおはじき～

難易度★★★★☆

- ねらい
- ・手先や足先、道具を使いこなす
 - ・周りや人のものと、自分の位置の関係をつかむ
- 準備物
- ・おはじきやボタンなど、指先ではじける平たいもの（色ちがいのものを同数ずつ）
 - ・テーブル（最初は床で行ってもよいが、テーブルでおはじきを落とさないように
はじくと、力の調整の練習になる）
- 進め方
- ① テーブルの両端に保護者と子どもが向き合って、それぞれにボタンを並べます。
 - ② 交互に指先でボタンをはじき、相手のボタンに当てることができたら、相手のボタンをゲットできます。テーブルから自分のボタンが落ちてしまったら相手のものになるなど、ルールは工夫してもらってかまいません。
 - ③ 最終的に、どちらかのボタンがテーブルの上からなくなったら、ゲームセット。

☆ 幼児の場合は、相手のおはじきに当てることは重視せず、
並べたおはじきを「順番にはじく」というルールの理解や、机から落とさないではじく力の調整
や、はじくという動作そのものに注目して行いましょう。

動画のQRコードはこちら！

YouTubeに参考動画をあげています。ぜひご活用ください。

本トレーニング動画は、YouTubeにてハッピーテラスのご利用者様に対し、
限定公開されたものです。ハッピーテラスのご利用者様以外の方にURLを
お知らせされないようお願いいたします。



5 療育コラム 「リフレーミング」

今回は、支援現場でも、良く用いられるリフレーミングという手法についてのお話をしていきたいと思います。

最初に、このお話をさせていただこうと思いついたきっかけがあるので、ご紹介させていただきたいと思います。

それは、私が授業を担当させていただいた時のこと、入室前に、別の事に気を取られていたお子様に対して、保護者様が何気無くされたお声掛けでした。個人情報保護の観点から、詳細をお伝えする事ができないのが、とても残念なのですが、このお声掛けがたいへん素晴らしく、お子様の好きな事と授業の内容を的確に関連付けて下さっており、お子様はすぐに入室してやる気に満ち溢れた状態で最後まで取り組む事ができました。

この際、保護者様が恐らく無意識に用いられた手法は、俗に言う[リフレーミング]と呼ばれる手法です。

リフレーミングとは、読んで字の如く、物事を捉える枠組みを変更する事を指します。簡単な例を挙げてご説明すると、

何かしら危機的な状況に直面した際に、
このピンチは、大きく成長するチャンスだ！
と考えたり、

100点満点のテストを受けて、60点だった時に、
6割しかできなかった・・・と考えるのではなく、6割はできた！

と物事を考える際に、別の視点からの新たな枠組みをあてがって、解釈する、というイメージです。

どちらの例でも、ピンチに直面している事自体や、60点だった、という状況には何も変わりはないのですが、リフレーミングした後の考え方の方が建設的であり、次に繋がる肯定的なイメージが浮かびやすいように感じられるのではないのでしょうか？

では、次に、リフレーミングを上手に行う為のポイントについて考えていきたいと思います。

最大のポイントは、物事を多角的に捉える事、これに尽きると思います。リフレーミングは、先の例のように、物事に対して、別の視点からの見解をあてがう事で異なる意味を見出すものですので、少なくとも2つの視点は必要とされるからです。つまり、物事に対しての視点が多角的であればある程、選択肢が広がるため、その見解を他者に伝える際に、納得してもらえやすくなります。そして、そこから更に、伝える他者が受け入れやすかったり、好んでいたりする視点を含むリフレーミングができると、冒頭でご紹介させていただいた保護者様のお声掛けのように、やる気の向上に繋げる事ができるのです。

今回のリフレーミングのお話、いかがでしたでしょうか？
同じ物事でも、違う側面から考えてみる事で、思いがけない発見があるかもしれません。こうした気付きを、お子様と共有していく事で、発想の転換や柔軟な思考力を育む他、自己肯定感の向上などにも役立てていけるように思いますので、心の片隅にでも留め置いていただけますと幸いです。

それでは、また次回のコラムでお会いしましょう。